

## 選挙に行って政治を変えよう

岸田新内閣が発足し、国会での議論を尽くさないまま、14日解散31日投票の日程が決まりました。

今回の総選挙の最大の特徴は、立憲民主党と日本共産党を中心とした市民と野党共闘が勝利して自公政権を倒し、野党連合政権を樹立出来るかどうかです。

野党共闘を成功させるためには、ぶれずに共闘を推進する共産党の躍進が絶対に不可欠です。

みなさんのご支援を心からお願い申し上げます。



《写真》

早朝駅宣伝で、「市民と野党の共闘で政権交代」を訴える立花市議（中央）、平岡町後援会のみなさん。7日JR東加古川駅

## 10区市民連合が野党と懇談会開く

兵庫10区は、自民現職の渡海紀三郎氏に立憲新人のおき圭子氏と維新新人の堀井健智氏が挑む構図で、日本共産党は比例での躍進に力を集中します。

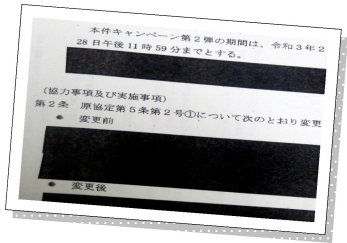
（野党共闘の意義については同封の兵庫県後援会ニュースを参照下さい）

兵庫10区市民連合（代表小南浩一兵庫教育大学教授）は、10月10日に野党との懇談会を開きました。

会合には、日本共産党、立憲民主党、社民党、新社会党、緑の党、れいわ新撰組の代表が参加し、総選挙への対応が検討され、自公政権を終わらせるため、市民連合に参加した団体・個人がそれぞれの立場で頑張ること、市民連合として街頭宣伝を実施することを確認しました。

## 黒塗りデータは赤ホフファイルだけではない（加古川市でも）

森友問題で佐川理財局長の命令で安倍首相を守るために書類の書き直しが行われ、自殺した赤木さんの真実を知りたいという情報公開請求に対して、黒塗りされた資料をテレビで見ている



存知のとおりです。9月補正で四億三千五百万円ものペイペイからのミス請求で予算を全額削除する差し替えが行われましたが、現時

点でも原因が明らかにされていません。そこで、契約内容を確かめたいと情報公開請求したところ黒塗り書類が出てきました（写真）。理由はペイペイの営業上のノウハウとキャンペーンの利用を阻害すると書かれています。市の協定書が市民に黒塗りで明らかにされないのは問題です。

## 飛び歩記



立花俊治

## 日本共産党の選挙政策 「4つのチェンジ」

- ①新自由主義を終わらせ、国民の命と暮らしを何よりも大切にする政治に。
- ②気候危機を打開し、地球を守る政治を。
- ③ジェンダー平等の日本をつくる。
- ④憲法9条を生かした平和外交で平和な日本を。

（この詳しい政策は、党のホームページでご覧いただけます。後援会にご連絡いただければ政策本文をお届けします。ご遠慮なくお申し出ください）

- 子育ての支援を。 30代（女性）
- 「共産主義に自由がない」との誤解が多い、判りやすく宣伝をしてほしい。 50代（女性）
- 年金生活で大変です。負担増は困ります。 70代（女性）
- ずっと共産党に投票している。もっと議員が増えると良い。 80代（男性）
- 物価が上がり、仕入れ値が上がっている。消費税を下げ、購買力をあげてほしい。 商店主（女性）
- コロナで体温計・CO2検知器・サーキュレーターなど出費がかさみ大変。 商店主（女性）



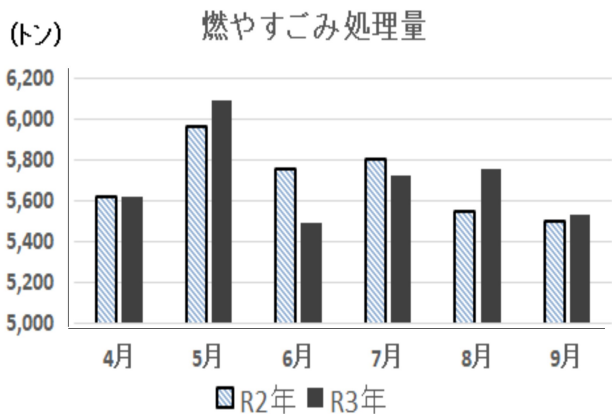
## 指定ごみ袋導入 とうなった ゴミの量

6月から導入された「指定ごみ袋」で、ゴミの量がとうなったのか、4月から9月の変化を見てみました

（左上グラフ参照）。

R2年比で、導入前の5月は130トンの増加し、導入後の6月は265トンの減りましたが、4月から9月の合計では、昨年より26トンの増加です。

「指定ごみ袋」にすればごみの量が減ると市は予想していましたが、今のところ効果は見えていません。



## エコクリーンピアはりま



東播磨市2町（加古川市・高砂市・稲美町・播磨町）の広域ごみ処理施設は、高砂市で来年4月オープンめざし建設が進んでいます（写真）。

燃えるごみ、燃えないごみ、粗大ごみの処理を行う施設で、燃えるごみの処理能力は429t/日です。試運転が、11月1日から開始されます。